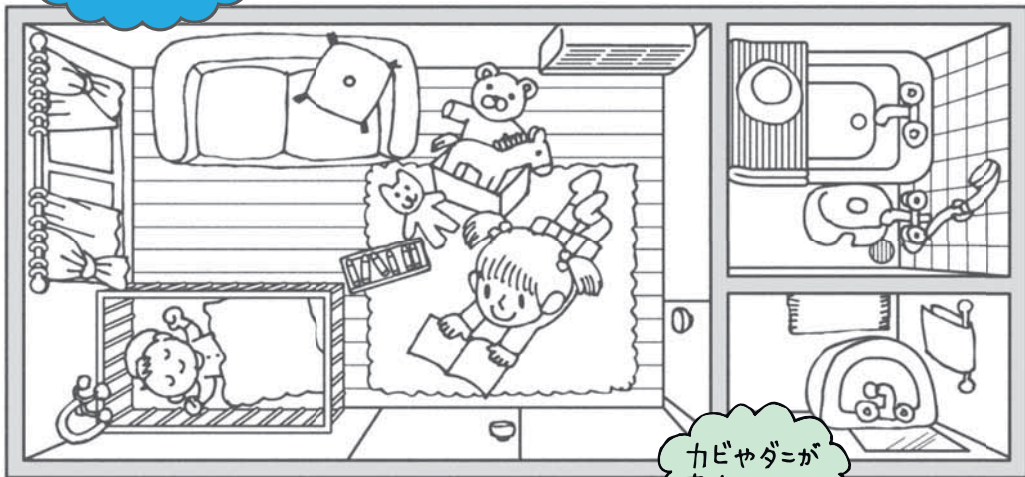


キミも
いっしょに!

ぬりえをしながら、おうちのひとと いっしょに かんがえてみよう!

いえ なか
家の中、カビやダニはどこにいるかな?



しめ 湿ったところが大好きなカビは、お風呂場や洗面所、カーテンの裏、
まど 窓、台所など、水が多いところにはえてくる。人のいるところや温か
くて湿ったところが好きなダニは、布団やカーペット、ぬいぐるみなど
にたくさんいるよ。カビやダニは、咳、鼻水、くしゃみ、肌のかゆ
みの原因になるんだ。



コアセンターからのお知らせ

「キミもいっしょに!」コーナーがはじまります

全体調査の調査時期が変更になります

いつもエコチル調査にご協力いただきありがとうございます。
これまで、「エコチル調査だより」は、コアセンター発信の情報を、
調査にご協力いただいている皆様やご家族にお伝えすることを目的
にお届けしてきました。今回は第6回エコチル調査シンポジウムの
内容を中心に紹介しましたが、日々成長しているお子さんたちも楽しめるよ
うな企画も盛り込みながら、お子さんと一緒に読んでいただけるような「エコチ
ル調査だより」にしていきます。



エコチル調査にご参加いただいた際に皆様にお渡しした説明書
に、「エコチル調査全体のスケジュール」をお示しており、その
中に6歳と12歳の時には、質問票調査の他、小児科診察、身体計
測(身長・体重等)、子どもの採尿などを実施することを記載して
おりました。現在、実施方法について検討しておりますが、6歳で
は実施せず、小学校2年生での実施を念頭に具体的な調査内容に
ついて検討しております。調査時期・内容の詳細が決まりましたら、あらためてお知らせいたします。ご理解をいただけますよう
何卒よろしくお願いたします。

参加者のみなさまへのお願い

住所が変わった時は、担当のユニットセンターに
新しい住所をお知らせください
転居先が調査対象地域外であっても、質問票調査へのご協力など、可能な範囲でのご協力のほどお願いいたします。変更があった際は、質問票調査に同封している「登録内容変更届け」に新住所をご記入の上、質問票とともにご返信ください。または、担当のユニットセンターにお電話ください。
質問票調査にご協力ください
みなさまにお答えいただく質問票は、今後の調査、研究にとって非常に貴重なデータとなります。ちょっと答えにくかったり、時間がかかってしまう時もあるかと思いますが、質問票への回答、返却にご協力いただけますようお願いいたします。

お問合せ エコチル調査コールセンター

0120-53-5252

9:00 ~ 22:00(フリーダイヤル・年中無休)

発行
子どもの健康と環境に関する全国調査
(エコチル調査) コアセンター

〒305-8506 茨城県つくば市小野川116-2 国立研究開発法人国立環境研究所



キミもいっしょに!
家の中、カビやダニはどこにいるかな?

あなたがたより

エコチル調査だより

Japan Environment & Children's Study

http://www.env.go.jp/chemi/ceh/

エコチル調査だよりは、「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」の研究成果や進捗状況を参加者のみなさまへお知らせする情報紙です。

第6回エコチル調査シンポジウム開催

2017年2月18日、6回目となるエコチル調査シンポジウムが開催されました。会場となる江戸東京博物館ホールには、小さなお子さんを連れた参加者や各地のユニットセンター関係者も多数来場し、和やかな雰囲気の中進められました。司会進行を務めたのは、日本科学未来館の科学コミュニケーターの武田真梨子さんです。

シンポジウムに先立って行われた基調講演では、新田裕史エコチル調査コアセンター長代行が「エコチル調査の概要 - 生活環境からわかったことの紹介 - 」と題して、5000人を対象とする詳細調査について紹介。また、詳細調査で実施された訪問調査による「生活環境中の空気汚染物質の集計結果」なども発表しました。

続く特別講演では、アンガールズの前山根良顕さんとメディカルサポートセンター(国立成育医療研究センターアレルギー科医長)の大矢幸弘特任部長が



シンポジウムでの先生方。
左から、新田コアセンター長代行、山根先生、藤谷先生



特別講演での大矢先生



シンポジウム全体風景

「新米パパから見た子育てについて」をテーマに対談を行いました。山根さんの子育て中の写真も紹介されるなど、和やかな雰囲気での対談でした。

今年のパネルディスカッションのテーマは「子育てを支える色々な立場から見た子育てと生活環境」。エコチル調査戦略広報委員会委員長(山梨大学大学院教授)の山縣然太朗先生がコーディネーターを務め、小児科医の

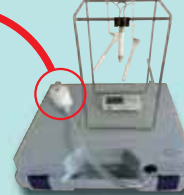
藤谷宏子先生、新田コアセンター長代行、特別講演に登場していただいた山根さん、生後11か月の女の子のお母さんでもある宮城ユニットセンターの櫻井香澄さん(東北大学)も参加して、それぞれの立場から子育て環境について意見を出し合いました。この「エコチル調査だより」では、シンポジウムで紹介された集計結果のいくつかをご報告します。

5000人の詳細調査で調べていること — シンポジウムでのPM2.5に関する展示

詳細調査は、10万人の調査協力者の方のうち、5000人の方にご協力いただいている調査です。子どもたちの実際の居住・生活環境について訪問して調べる調査や発達などを含めた医学検査を行っています。



PM2.5の捕集フィルターの構造について説明の様子



PM2.5捕集器とガス状物質の捕集管



PM2.5のフィルター捕集に関する展示。
タバコの影響が顕著な様子がうかがえる

子育ての状況

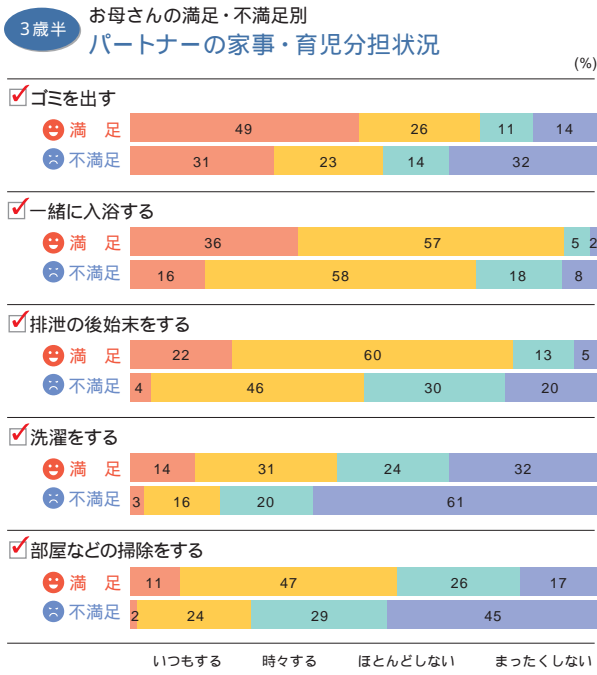
子育てを一人でがんばりすぎてない？

エコチル調査に参加しているお母さんたちに対して行った「パートナーの育児や家事への満足度」に関する調査では半数以上が満足・ほぼ満足と回答していました。

しかし、36%の方は「少し不満」「不満」と回答しており、その中でパートナーがまったくしないと回答した負担内容は、「ゴミ出し」「一緒に入浴」よりも「洗濯」や「掃除」の方が

多いようです。各ご家庭によって家事・育児の分担に関してさまざまな違いが見られました。

また、ほとんどのお母さんは、お子さんの面倒を見てくれる人がいると回答していましたが、家族に頼っているのが現状。実家が遠い場合などでもサポートを受けられる体制が必要かもしれません。



回答数：満 足.....パートナーの育児・家事の状況に「満足している」「ほぼ満足」と回答した24,623件(無回答：538 - 781件)
不満足.....同じく、「少し不満」「不満」と回答した13,818件(無回答：590 - 662件)

パネルディスカッションでは、パートナーの家事・育児負担などといった話題で大いに盛り上がりました。また、育児について相談する人がいるという人がほとんどだった結果に対して、山縣先生は「それでも2%の人がいないと回答していて、孤立した状況にあることがわかります」と発言。子育てを取り巻く環境についても、これからさらに検討する必要を感じました。

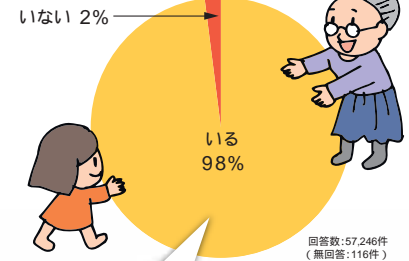
エコチル調査では、子どもたちの化学物質の影響を調

査していますが、子育ての状況や生活環境も子どもの成長や発達への大きい要因の一つだと考えています。そのような社会的要因や生活環境、遺伝的要因なども調べた上で、化学物質と子どもの健康の関係をみていくことが大切です。

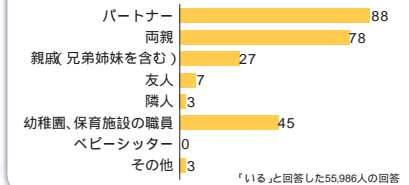
右ページでは、パネルディスカッションで家庭でのカビ・ダニ対策について話されていた藤谷先生に、効果的な対策を紹介していただきました。ぜひ参考にしてください。

3歳 お子さんの面倒を見てくれる人

質問 お母さん以外に、お子さんの面倒を見てくれる人がいますか。



面倒を見てくれる人(複数回答) (%)



【注意】この結果は、2017年2月7日時点の回答に基づく暫定的結果です。

子育ての生活環境

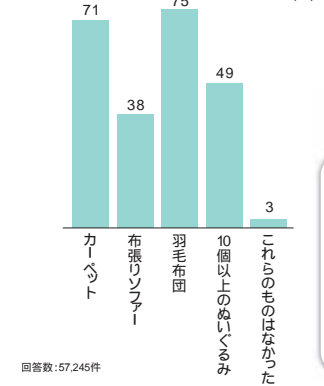
カビやダニが気になる.....

カーペットやぬいぐるみなどにはダニが多く生息していると考えられますが、こうした布製品がまったくないというご家庭は全体の3%のみでした。また、家の中のカビについては浴室が一番多いようですが、子どもの寝室にもカビが生えているというご家庭が10%もいました。

今回の調査では、お子さんの寝室の床の種類では、床張り、フローリング、タイルが一番多かったのですが、畳のご家庭も33%でした。エコチル調査では、このような生活環境とアレルギー疾患との関係を調べていこうとしています。

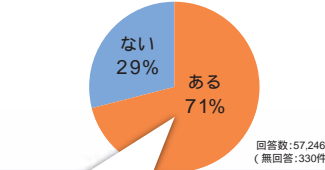
3歳 カーペット、 布張りソファなど

質問 この1年間に、家にあったものを全て選んでください。(複数回答) (%)

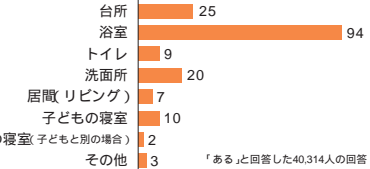


3歳 家の中でカビが 生えているところ

質問 浴室や洗面所も含めてお家の中にカビが生えているところがありますか。



カビが生えている場所(複数回答) (%)



【注意】この結果は、2017年2月7日時点の回答に基づく暫定的結果です。

知っておきたい！ 家庭内のカビ・ダニ対策

気管支ぜん息やアレルギー性鼻炎などのアレルギー性疾患の原因になるダニは、生きたダニは勿論、死骸や抜け殻、糞までもが強く害を及ぼします。フケ、垢、食べカス、などを摂取して繁殖し、絨毯や布団、枕、畳、ぬいぐるみ、ソファなどに多く生息しています。また多くのカビ類も同じで、水回りの多い浴室やキッチン、エアコン内に多く生息しています。このようなダニ、カビに対して、皆様の家での対策についてお話ししたいと思います。

ダニ、カビは一般に50度以上、湿度55%以下で死滅すると言われています。

布団は高温になるよう黒い布などで覆い天日干し、その後は布団の両面からダニの死骸を掃除機で丁寧に吸うことが必要です。家屋の条件等で干せない場合は布団乾燥機を利用しましょう。布団乾燥機はカビ除去にも大変効果的です。絨毯や畳は1分間に1㎡を目標にゆっくり、丁寧に掃除機をかけましょう。家具の間もこまめに吸い取ることを心がけましょう。

ぬいぐるみや枕、シーツなど丸洗いができるものは洗って乾燥させましょう。カビに対しては除湿が特に重要です。

入浴後は浴室の換気が心がけ乾燥させましょう。シャワーカーテンや床のメジ、天井なども、よく拭いて乾燥につとめます。

エアコン内も定期的に清掃、乾燥させ、フィルターもこまめに洗いましょう。少しの心がけでダニやカビは減少し、快適な住環境となります。無理なく出来る時に出来ることから始められてはいかがでしょうか？



藤谷クリニック
藤谷宏子先生